



# 郵政産業 ユニオン

発行所 〒170-0012 東京都豊島区上池袋2-34-2  
TEL 03(5974)0816 FAX 03(5974)0861  
http://www.piwu.org mail@piwu.org  
発行責任者 廣岡 元穂

〈購読料〉1部250円(送料共) 年間2500円  
郵便振替口座 00120-5-120809  
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

## さよなら原発10万人集会

# 原発ゼロへ熱き思いで17万人

大江健三郎・坂本龍一さんら9氏がよびかけた「さよなら原発10万人集会」(「さよなら原発一千万人署名市民の会」主催)が、7月16日午後から炎天下のなか、東京・代々木公園で開催され、17万人が結集した。郵政産業労働者ユニオンとしては、真新しいのぼりを立てた初めてとりくみとなった。東海・近畿・九州などからも120名の組合員・家族・友人が参加し、「原発をなくす」「再稼働をとめる」などの思い胸に、集会后はパレードを行った。

原発再稼働に反対さらさないといけないに身動きが取れないほし、「原発ゼロ」の実現の。子ども・日本のど参加者となり、主をめぐす10万人集会 国土を守ろう」と訴え 催者から参加者17万人は、12時55分に開会 ました。他のよびかけとの報告がされると、し、坂本龍一さんが 人6人からの訴えがは 会場に歓喜の音が轟き「たかが電気のため じまるころには、通路また、第2ステーションに、なんて命を危険に も含め、見る見るうち



メイン会場は足の踏み場もないほどの人・人・人で埋め尽くされた



新たな組織ののぼりとプラカードを掲げていざパレードへ



森田さん(西淀川支店)より帽子の方に目が...

●命が大事・原発いらない日本・オスプレイを日本へ持ち込むな!消費増税に反対して復興優先の日本をめざしましょう。  
(目黒支店・郡 公一朗)

●「原発なくせ」が労働者半数の声であるのに個人参加や有志の会の旗を掲げ行動せざる

●一人ひとりの行動が世の中を変えると確信しました。できる限り周りにも声をかけて集会に参加したいです。  
(川崎千代が丘郵便局・庄司鈴子)

●政治を、社会を動かす原動力だ、と実感。暑い、熱い一日でした。  
(箕面支店・家門和宏)

●自分も「じっとしていられない」と、他の仲間分として旗を持って大阪から参加。どこでも原発ゼロへの思いはいっしょです。  
(大阪支店・所楚重司)

●この国で安心して暮らしたいという願いと、次代への愛情に圧倒されました。  
(葛飾新宿支店・鈴木秀行)

●大勢の仲間がいて勇気づけられました。この集会に参加された組合員からの声を紹介します。  
(浜松支店・今田佳晴)

## じっとしていられないと参加

この集会に参加された組合員からの声を紹介します。  
(浜松支店・今田佳晴)

この集会に参加された組合員からの声を紹介します。  
(浦安支店・青柳 章太郎)

一人ひとりが声を出すこと。今日は、その大きなうねりをつくった一人として参加できて満足です。  
(西淀川支店・森田敏明)

●人、人、人の波。人と多種多様な旗の海での脱原発のデモでした。  
(蒲田支店・藤野幸夫)

●自分も「じっとしていられない」と、他の仲間分として旗を持って大阪から参加。どこでも原発ゼロへの思いはいっしょです。  
(大阪支店・所楚重司)

●この国で安心して暮らしたいという願いと、次代への愛情に圧倒されました。  
(葛飾新宿支店・鈴木秀行)

●大勢の仲間がいて勇気づけられました。この集会に参加された組合員からの声を紹介します。  
(浜松支店・今田佳晴)

●「原発なくせ」が労働者半数の声であるのに個人参加や有志の会の旗を掲げ行動せざる

●一人ひとりの行動が世の中を変えると確信しました。できる限り周りにも声をかけて集会に参加したいです。  
(川崎千代が丘郵便局・庄司鈴子)

●政治を、社会を動かす原動力だ、と実感。暑い、熱い一日でした。  
(箕面支店・家門和宏)

●自分も「じっとしていられない」と、他の仲間分として旗を持って大阪から参加。どこでも原発ゼロへの思いはいっしょです。  
(大阪支店・所楚重司)

●この国で安心して暮らしたいという願いと、次代への愛情に圧倒されました。  
(葛飾新宿支店・鈴木秀行)

## ポスト

6月3日に「怒りの国民大集会」が明治公園で開催され、2万4千人が集まった。野田政権の10%消費増税・原発再稼働・TPP問題・震災復旧の遅れなどに対する怒りが溢れ、会場は超満杯に▼7月6日には、官邸前抗議集会在毎週金曜日開催されているので参加した。野田首相の大飯原発再稼働に対する抗議集会在である。一般の人々がツイッターなどによる呼びかけで爆発的に広がっている。なんもしなければ、危険な原発を止めることができないとの危機感からだ▼18時から抗議集会在が開始され、途中から雨が降り出したが、全員で「再稼働反対!」と声を上げ続けた。取材ヘリコプターが2機、上空を回っている。19時を過ぎても抗議の参加者が続々と詰めかけ、歩道での抗議行動が身動きできないほど危険な状態となり、次第に車道にあふれ出した。警察官の「歩道に戻りなさい!」との指示も効かず、6車線いっぱいになて広がった。「再稼働反対!」の叫び声が官邸を包囲し、抗議は、その後も続いた▼国民の怒りが充満している。そのことを実感する日々だった。東京・益